

学校に自分のペースで通いたい  
好きなことを突き詰めたい

# 通信制高校だから、 できる！

毎日学校に行かなくても、好きなことにたくさん時間を使っても大丈夫——それが、通信制高校だ。コロナ禍でオンライン形式の学びが普及したことも後押しとなり、2023年度の生徒数は全国で約26万5千人と8年連続で過去最多を更新した。進路先の一つとして身近になってきたとはいえ、仕組みや特色について分からないことも多いのでは。この春から通信制に進学した先輩たちの体験談を通して、気になる制度や魅力を紹介したい。

(ライター 新目七恵)

## 「やりたかった」 学校生活を自分なりに

「学校を休んでも、単位に響かないことがすごくうれしい」と声を弾ませるのは、札幌静修高校の菊地さん(16)。全日制のみだった同校は、創立100周年を迎えた2022年に通信制を設置。菊地さんは1期生として、4月から学習支援コースに在籍する。

通信制と聞くと、教室授業が中心の全日制や定時制と異なり、自宅で一人勉強するイメージがあるかもしれない。確かに基本は自学自習。レポート・スクーリング(面接指導)・テストを通じて、高校卒業に必要な74単位以上を修得するのが主な流れだ。というのも、通信制が制度化された1961年は、働く人が遠隔で高校教育を受けることを前提としていたから。ところが、近年は不登校を経験した人が半数以上を占めるようになり、通信制の在り方も多様化した。最大の特長は、生徒が自分のペースで学校生活を送れるよう、学習スタイルや方法などの選択肢を複数用意し、学びを積極的にサポートしている点だ。

菊地さんは中学2年の夏休み頃から体調を崩し、学校に行けなくなった。進学先を探すうち、通信制を新設する札幌静修高校が気になり、学校説明会に足を運んだところ、先生から「通信



「通信制だからと負い目を感じない雰囲気がいい」と話す札幌静修の菊地さん

でも全日でも、静修の生徒であることは変わらない」と言われ、なんていい先生だろうと思いました」と入学を決意。自宅で勉強する通信型もあったが、大学進学も視野に入れ、進路サポートも受けられる通学型を選択した。「毎日行くと疲れてしまう」と考え、月・水・金の週3日、教室でレポート課題に取り組んでいる。

一方、同じ通学型の川崎さん(16)は月～金の週5日登校している。中学時代は「コロナもあって中2の夏休み明けから教室に居づらくなり、別室登校していた」というが、「通信制でも、朝から規則正しく生活したい」との思いがあったからだ。毎日といっても教室で過ごすのは午前9時半から午後0時半ごろまで。「中学より帰る時間は早いので頑張れます。3年間で卒業し、美容系の専門学校に進みたい」と笑顔を見せる。

通信制の良さについて、2人は「授業中に皆の前で問題を解いたり発表するのが嫌だったけ

れど、通信制は自習スタイル。難しい問題は先生に教えてもらえるし、周囲と競い合う感じが無いのがいい」(菊地さん)「学校を休んでも特別扱いされず、図書室や購買も利用しやすい」(川崎さん)と説明する。この夏は全日制野球部の全校応援に加わり、「中学時代にやりたかったことができて楽しい!」と口をそろえる。

### 専門授業で 将来の夢に一直線!

「やりたいことがある」「早く資格が欲しい」といった個々のニーズに対応できるのも、通信制の特長だ。通信制で必要な登校日数は年間約20日間。空いた時間を有効活用し、趣味やスポーツに没頭する人もいれば、学校が用意する専門授業や体験学習に励む人もいる。

札幌市内のヒューマンキャンパスのぞみ高校に4月から通う三浦結人さん(16)、清水将臣さん(15)の夢は、共にゲームクリエイター。札幌駅前学習センターのゲームコースを専攻し、高校の勉強と並行してゲーム制作の基礎知識などを学んでいる。

「ゲームクリエイターに一番近い学校」と三浦さんが話す通り、同校では2年次から、連携する専門教育機関で最先端技術などを学べる併修制度があり、高校卒業までに専門スキルを身に付けられる。三浦さんは「レポートを主体的に進めるのが少し大変ですが、2年目からの専門授業が楽しみなのでモチベーションも高まります」と語る。

自由な時間が増えた分、2人ともゲームに関する調べものをしたり、新しいゲームに触れたりしているそう。価値観の近い仲間と出会えた



ヒューマンキャンパスのぞみでゲームクリエイターを目指す清水さん(左)と三浦さん

ことも刺激だといい、「努力すれば夢が叶うことは先輩たちが証明している。将来の目標がはっきりしている人にお勧めです!」(三浦さん)「学校に行っていない時期にYouTubeで見たゲームの実況中継に助けられました。今度は自分がゲームを作る側になって楽しませたい」(清水さん)と目を輝かせる。

「中学時代に人間関係を無理してキャパオーバーになった」という清水さんは、「似たような経験を持つ人が通信制には多いので、過干渉を避け、徐々に仲良くなる雰囲気があるから安心してほしい」とエールを送る。

### 特色は千差万別 部活動や学校行事も

一人ひとりの事情に合わせた柔軟さが魅力の通信制。文部科学省の学校基本調査によると、2023年度通信制高校の生徒数は26万4797人(速報値)と、2015年度(18万393人)から8年連続で増加した。特にコロナ禍の2020年度からは毎年1~2万人ペースで急増。北海道の生徒数(道内8校の合計)も微増傾向にあり、23年度は2万4499人と都道府県別で全国2番目に多かった。

ユニークな私立高校の存在も、生徒を引き付ける理由だ。たとえば、「ネットの高校」として話題になったN高校、オンラインで哲学などを学べるワオ高校、お笑いやパフォーマーなどエンターテインメントキャリア教育を受けられる吉本興業高等学院など、各校の特色は実に多種多様。本校は道外でも、北海道から入学できる「広域制」の通信制も増えており、最寄りの



オーダーメイドの時間割が作れるクラーク記念国際の総合進学コース